

「振り込め詐欺」の手口と被害防止のポイント

①オレオレ詐欺

子どもや孫などを騙り、借金の返済などに困っているように信じさせ、ATM（現金自動預け払い機）に誘い出し、お金を振り込ませる手口です。

被害防止のポイント

- ・本人しか知らないような事柄を言わせ、本人かどうかを確認する。
- ・変更される前の携帯電話の番号などに電話をかけ、事実を確認する。
- ・振込先口座の名義人が家族のものでない場合は要注意。

②架空請求詐欺

携帯電話のメール機能などを利用し、債権回収業者や企業を装って有料サイトの利用料や退会料を口実に架空の請求をして、お金を振り込ませる手口です。

被害防止のポイント

- ・「法的措置をとる」といった言葉に惑わされず、身に覚えのない場合は無視する。
- ・相手が指定した連絡先には、電話をしない。

③還付金等詐欺

税務署や市役所などの公的機関の職員を名乗り、税金や医療費、年金などの払い戻し手続きを信じさせて、実際には、お金を振り込ませる手口です。

被害防止のポイント

- ・公的機関からお金の振り込みについて、ATMの操作を指示することはありません。
- ・指定された電話番号に連絡する前に、電話帳などで正しい連絡先を調べ、内容を確認する。

④融資保証詐欺

はがきやメールなどで有利な条件を示し、「審査なしで融資を行うので、融資額の1割を保証金として振り込んでくれ」などといった保証金目的でお金をだまし取る手口です。

被害防止のポイント

- ・安易に借入金を申し込まない。



現金をだまし取る方法は、宅配便を利用させるなど、ATM（現金自動預け払い機）で現金を振り込ませるだけではなくです。また、指示があっても、現金やカードをむやみに相手に渡さないようご注意ください。



「おかしいな？」と思ったら、まず相談！

右記へ
お問い合わせ
ください！

- 留萌警察署…………… ☎42-0110
- 警察総合相談窓口…………… ☎#9110
- 消費者ホットライン …… ☎0570-064-370

特集 3

■お問い合わせは 総務課 ☎56-5005 まで

「振り込め詐欺」にご用心！

依然として現金を要求する詐欺が、全国的に多発している状況にあり、留萌市においても「振り込め詐欺」による被害が発生しています。「振り込め詐欺」などの被害にあわないように、「振り込め詐欺」の手口をみんなで理解して、だまされないようにしましょう。



「振り込め詐欺」とは

卒業名簿などを利用して電話をかけ、家族や公的機関などの職員を装い、お金を振り込ませる詐欺の手口です。

「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「還付金等詐欺」「融資保証金詐欺」を総称して、「振り込め詐欺」と呼んでいます。

被害にあわないために



「自分は大丈夫」と思っている人も、家族の窮地となれば、誰でもパニックになるでしょうし、家族や公的機関の職員と言われれば、信用してしまいがちです。

「振り込め詐欺」の被害から身を守るため、左記のことに心掛けましょう。

◎いつでも家族と連絡が取れるよう、連絡先を確認しておく

◎不審な電話がかかってきたら
①自分から子どもや孫の名前を言わないこと

②一人で悩まず、家族や警察に相談すること

③事実が確認できないときには、振り込まないこと

「詐欺を撃退できなかった」全国の事例集

ケース1 振り込め詐欺は知っていたが… (73歳女性)

「オレオレ詐欺」や「振り込め詐欺」という言葉は知っていました。しかし、息子の名前を名乗る電話は息子の声によく似ていたため、「電話番号が変わった」という言葉を信じてしまいました。その後の「妊娠させて示談金が必要。訴えられる」と泣きながら話す電話に頭が真っ白になってしまい、言われるままに振り込んでしまいました。

ケース2 息子の近況に似ていたため… (63歳女性)

「オレ、声おかしいだろ。歯が痛くて歯医者に通っている。サラ金の返済に困っている」と息子をかたる電話があり、以前にも息子から歯医者に通っていると聞いたことがあったため、信じてしまいました。銀行で「振り込め詐欺じゃないですか」と言われましたが、行員の注意を聞かずに振り込んでしまいました。

ケース3 自分だけは大丈夫と思っていたが… (66歳女性)

振り込め詐欺に関するニュースをTVや新聞でよく見ていたので、「なんでだまされるのだろうね」と家族で話していましたし、「自分は大丈夫」と思い込んでいたかもしれません。しかし、「母さんオレだ」と電話がかかってきた時は、話し方や声が長男に似ていたことから、すっかり信じ込んでしまいました。「会社の金を使い込んでしまい、今、監査が入っている」と言われ、このままでは息子が会社をクビになり、息子や孫が路頭に迷うと思って慌ててしまい、郵便局の窓口から振り込むことにしました。その際、「話が大きくなると上司にばれるから他の人には余計なことを言わないで」と指示されていたため、誰にも相談せずに振り込んでしまいました。

私のオレオレ詐欺対策

電話を常に「留守番電話」に設定しています。まずは「留守番電話」で電話を受け、日ごろから家族の間で「合言葉」を決めておいて、「合言葉」を確認できたら、相手と話すようにしています。